



令和6年3月1日
目黒区立駒場保育園園長

園庭の花壇に幼児が植えたチューリップの球根が芽を出し、春の訪れを感じます。
ある日のこと1歳と2歳の男児2名が園庭の桜の木の下で何かしています。よく見るとそれぞれ石を持っていて、桜の根の間にその石を入れたり位置を変えたり時々二人で顔を見合わせながら“そこ、いいね”とでも言っているようです。その後、石を遊具のバケツに入れ二人一緒に小走りで園庭を一周すると、テーブルにバケツを置き次はなにしようか、というように2歳児が1歳児の顔を見ていました。ふたりの間にメタコミュニケーションがあり楽しそうな雰囲気が伝わってきました。この時期、園庭ではそんな異年齢のさまざまな関わりが多く見られます。

先月、年長児が一日二人ずつ事務所での会食を行いました。小学校に進学して楽しみなことや、ランドセルの色などの話を聞きながら、どの子どもも4月からの小学校生活に希望を抱いている様子が見られました。食後は『しりとり』をして遊びました。大人は名詞のみと考えていますが、お友達の名前や、こ。のつくことばでは「こんにちは」など、いろいろな言葉が出てきて子どもの頭がやわらかいことがわかり、楽しい時間を過ごすことができました。もうすぐ卒園式があります。巣立っていく子どもたちを陰ながら応援していきたいと思ひます。

今年度も最後の月となりました。一年を通じて保護者の皆様には様々のご協力をいただきまして、心より感謝いたします。クラスの一年の成長の姿も記載していますので、どうぞご覧ください。

3月の行事予定

- 0歳児健診
- 卒園式 5歳児クラス
- お別れ遠足 3、4、5歳児クラス
- お別れ会 3、4、5歳児クラス
- 保育室移動日(詳細は後日お伝えします)
- 避難訓練 身体計測

つぶやき



冬至の時に柚子のにおいをかいで・・・
「ちょっと 子どもには 早いかな」(5歳児クラス)

保「今日はミートローフだよ」
子「豆腐が入ってるの？」(3歳児クラス)

暖かい日に・・・
保「今日はおひさまがいっぱいだね」
子「おひさまは、いっこだよ」(2歳児クラス)

卒園制作を紹介します。

卒園する記念として、ひまわり組が保育園にプレゼントを作りました。

今年度は、階段の踊り場の壁面に飾るタペストリー(春・夏・秋・冬)です。

子どもたちが貼った布や巻いた毛糸などを使って、春夏秋冬それぞれの賑やかな装飾になりました。一つ一つのパーツを合わせ大きな壁面飾りになることを楽しみながら制作しました。

春



夏



卒園制作は玄関や廊下に飾る予定です。ご覧ください。

<一年間で成長した子どもたちの姿をお知らせします >

0歳児 ひよこぐみ

「お庭に行こう」と子どもたちに声をかけてドアを開けると庭に行くことが分かり、歩いて廊下へ向かいます。友達が部屋でまだ遊んでいることに気が付くと部屋の中をのぞいています。保育士と一緒に後から来ることが分かると安心したのか笑顔で支度をはじめます。フックから帽子を取って保育士に渡し、「これは〇〇ちゃんのだね」と言うとその子のところに渡しに行ったり、部屋へ帰ろうと誘った時に“まだ遊びたい”と帰るのを嫌がって泣く子のところへ行き、頭を撫でて慰めたりしています。子どもたちが友達の名前を覚えて関わろうとする姿に成長を感じます。

2歳児 たんぽぽぐみ

2枚のカードの絵を合わせて取る絵合わせ遊びを保育士や友達と毎日繰り返し遊んでいます。始めは早くめぐりたくて順番が待ちきれなかったり、好きなカードが取れずに涙を流してくやしがつたりしていました。嬉しい気持ちや悔しい気持ちに寄り添いながら繰り返し遊んでいるうちに子どもたちがカードが取れて喜んでいる友達に「とれたね」と言って一緒に喜んだり、くやしくて涙を流している友達に「くやしいね」とそっと伝える姿があります。遊びの中で少しずつ友達の気持ちに気が付くようになってきました。

4歳児 すみれぐみ

バナナ鬼やどろけいなどの集団遊びを楽しむことができました。繰り返し楽しんできたことで「やまんば鬼ごっこしよう」「新幹線鬼ごっこしよう」と自分たちで遊びを考え、「全員タッチされたらやまんばの勝ちにしよう」「新幹線にタッチされたら駅に止まるんだよ」とすみれぐみ独自のルールも考え、相手に伝えながら自分たちで遊びを進めようとしている姿があります。考えたことやアイデアを言葉で伝え合う姿や、友達のアイデアを聞いて受け入れて遊ぼうとする仲間関係に成長を感じます。

1歳児 ちゅうりっぷぐみ

散歩に行く時に「〇〇ちゃん、手を繋ごう」と友達に手を差し出して誘い、一緒に繋ぐことが出来ると嬉しそうに出発しています。東大の構内を歩いていくと、座禅堂という屋敷が見えてきました。気づいた子どもたちは“おばけがいるかも”と止まり、見つめています。友達が「おばけ、いる」と屋敷を指さすと驚いた表情でその場所をじいっと見たり、見つからないようにみんなでそっと歩いていました。一人でじっくり遊ぶ姿から友達への興味が深まり、“友達と一緒に楽しい”という気持ちが育っていることがわかります。

3歳児 さくらぐみ

「みんなで家を作ろう」と、マットやタイヤを並べました。保育士がタイヤのベッドで寝たふりをしていると、クリスマスのイメージなのか、保育士のそばに玩具をそっと置いて「朝だよ」と言い、サンタクロースになりきって遊び始めました。すると、他の子もサンタクロースやトナカイになりきって楽しんでます。それを見ていた子も「どろぼうだぞ」と言いながら、足音を立てないようにそっと家に入っています。友達の遊びから自分なりに想像して役になりきり、気の合う友達とやりとりをして楽しむようになりました。

5歳児 ひまわりぐみ

園庭遊びの最後にドッチボールをやりたいという声があがり、そのために片付ける時間を決めています。時間になったことにいち早く気付いた子が「ドッチボールやるよ、集まって」と周りの友達に声をかけて集めたり、玩具の片付けを手伝ったりしています。チームリーダーに指名された子が一人ずつメンバーを選び、チームが決まると円になり、立候補やじゃんけんで外野とジャンプボールなどの役割を決めています。目的のためにみんなで相談して決めたり、仲間同士で力を合わせ遊びが進んでいます。